



# ホームオフィスとしての 和室の有用性

2003.7

(株) A2A研究所

田代 務

www.a2a.jp

*any to any communications*



## テレワークを巡る環境変化

導入を促進する

導入を阻害する

IT

ブロードバンド、モバイル等の進歩  
PCの小型・高性能化

情報セキュリティ問題

HR

成果主義、年俸制、  
職務別賃金体系の導入

裁量労働制、  
育児休業関連の動き

フレックスタイム制廃止、  
サービス残業問題

FM

オフィススペース供給過剰（2003年問題）

オフィス機能見直し

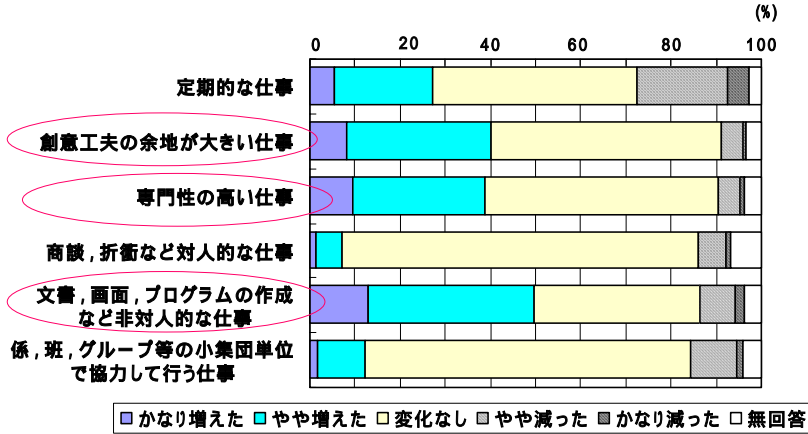
都心への一極集中化

*any to any communications*



# IT化による仕事の変化状況別従業員割合

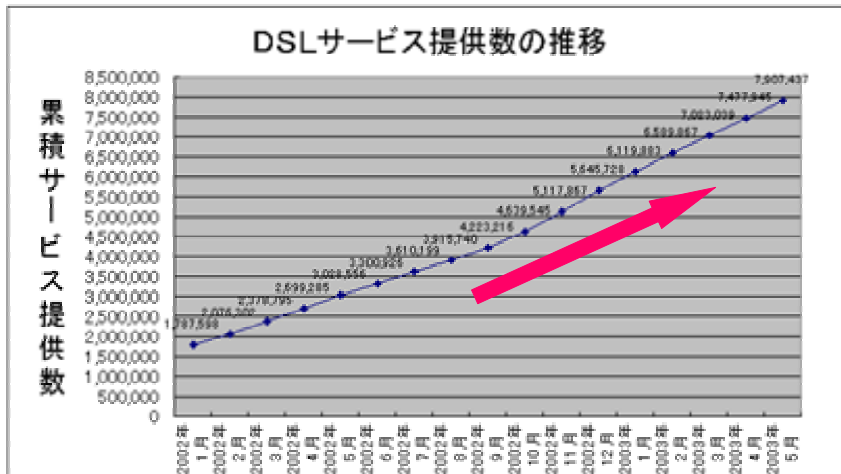
(IT化による仕事の変化についての調査、H13、厚生労働省)



any to any communications



# ブロードバンド回線の普及 (ADSL)

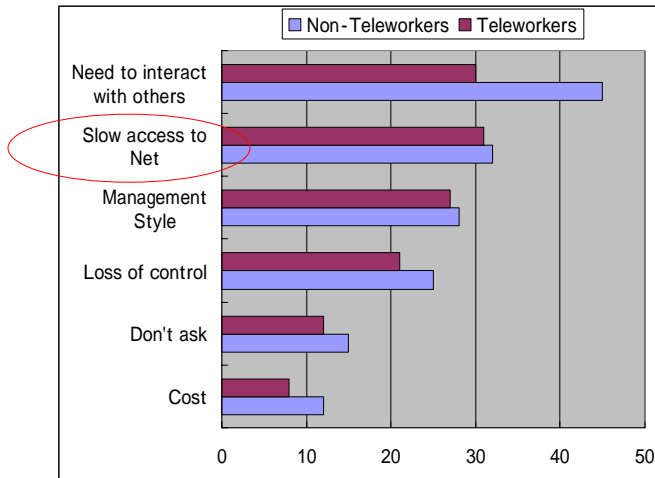


総務省ホームページより

any to any communications



## テレワークをしない理由 (AT&T調査、2003)

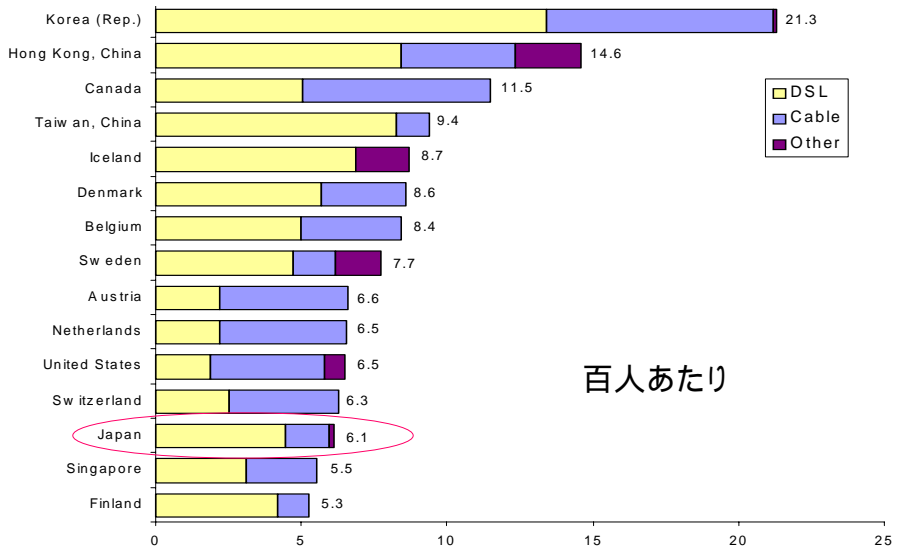


Major Reasons More Employees Don't Telework (% Saying Major Reasons) 2002-2003 AT&T Employee Telework Research Results, April, 2003

*any to any communications*



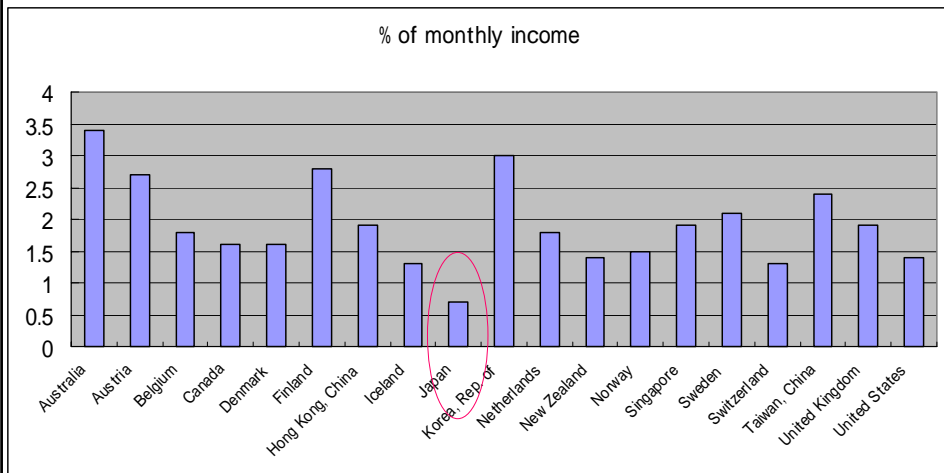
## 各国のブロードバンド普及率 (ITU, 2002)



百人あたり



## ブロードバンド利用料金 (対収入費)



(ITU,2002)

*any to any communications*



## なぜ、和室か

- テレワークをしたい、導入したいという声小さい。
- 原因の一つに、適当なオルタナティブオフィスがないからでは(との思い込み含め)？
- 最も多いのは自宅だが、
  - ・オフィスにするようなスペースはない。
  - ・家具(机や椅子)を購入する必要がある。
  - ・IT環境も。

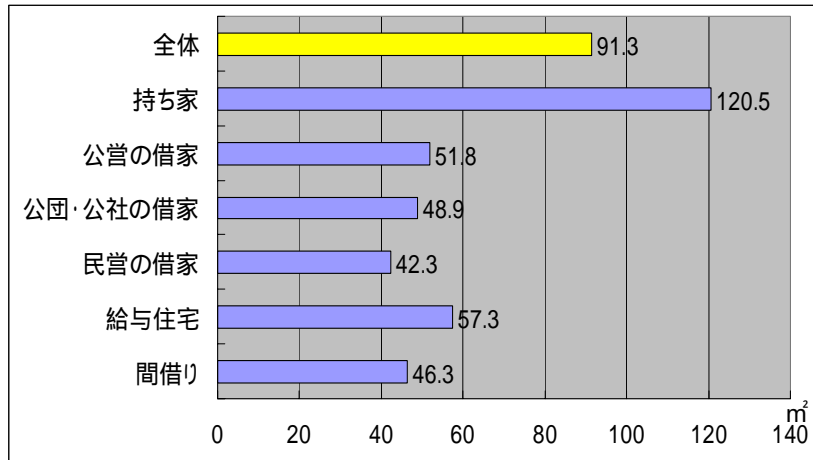
近年の環境変化を考慮して、自宅の見直しが有意義

*any to any communications*



## 住居所有形態別の世帯あたり延べ面積

(H12、国勢調査)

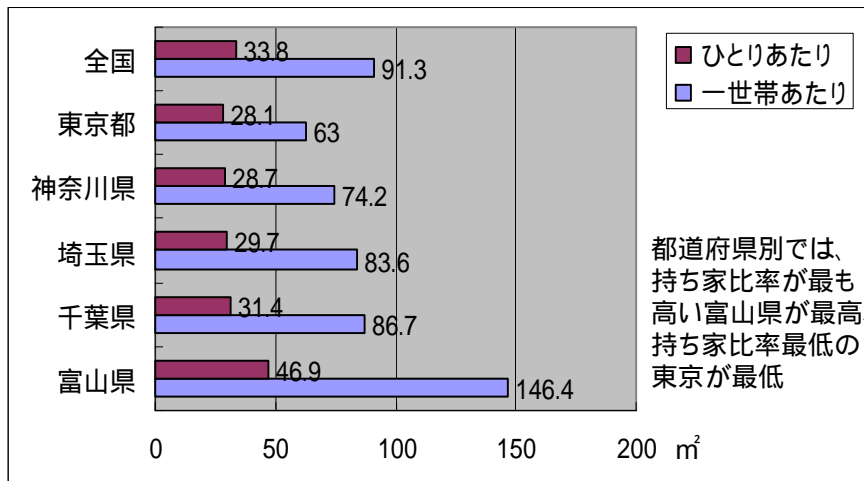


any to any communications



## 首都圏世帯の住居延べ面積

(H12、国勢調査)

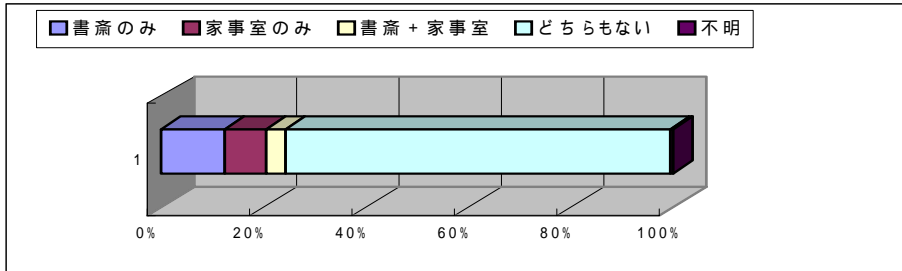


都道府県別では、持ち家比率が最も高い富山県が最高、持ち家比率最低の東京が最低

any to any communications



## 金融公庫利用の住宅での書斎・家事室の有無

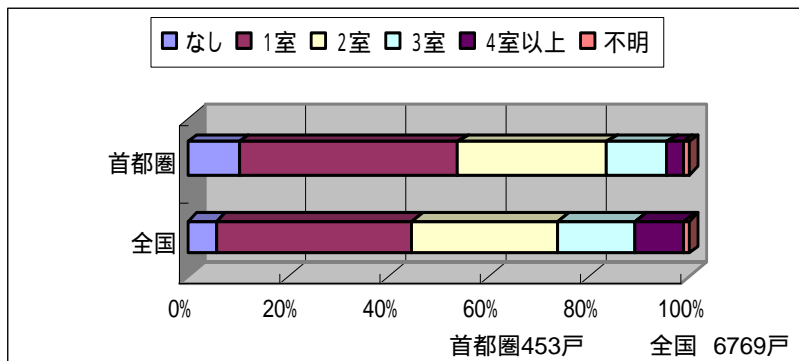


(平成8年、住宅金融公庫調査より)

*any to any communications*



## 金融公庫利用の住宅における和室数

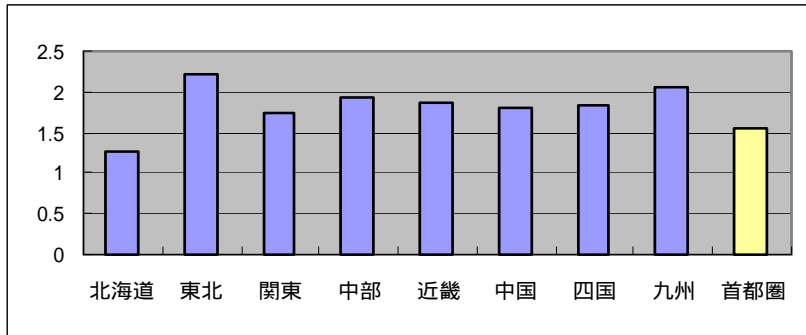


(平成8年、住宅金融公庫調査より)

*any to any communications*



## 地方別の平均和室数

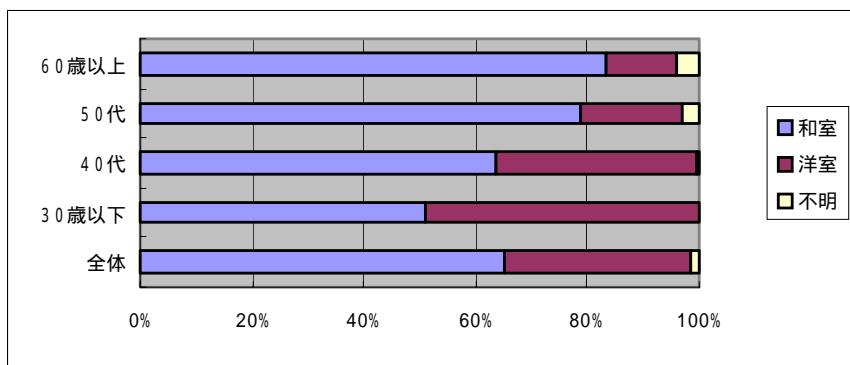


都道府県別では、多い順に山形(2.63)、鹿児島(2.34)、  
少ない順では、沖縄(0.81)、北海道(1.28)

*any to any communications*



## 和室のイメージ



和室と洋室、どちらが「くつろげますか」  
(熊本県農政部調査)

*any to any communications*



## 知創空間としての和室



国宝 紫式部日記絵巻 (五島美術館)

*any to any communications*



## 知創空間としての和室



文豪の書齋 山本有三記念館

*any to any communications*





## 和室の特徴

### 独立した空間

- ・面積：  
決して狭くない  
(6畳では、約10㎡)
- ・静寂：  
周囲雑音が少ない  
(畳や障子などの自然  
素材には吸音効果)

### 作業環境

- ・テーブル：  
概して広い  
部屋中央に設置可  
(視野が遠くに移り、壁  
からの圧迫感が減少)
- ・畳の上：  
書類等の置き場所  
として利用可

*any to any communications*



## 和室の特徴

### 姿勢

- ・自由度：  
大きい
- ・休憩：  
長時間座り続ける  
と疲労  
(休憩や軽い体操が  
必要)

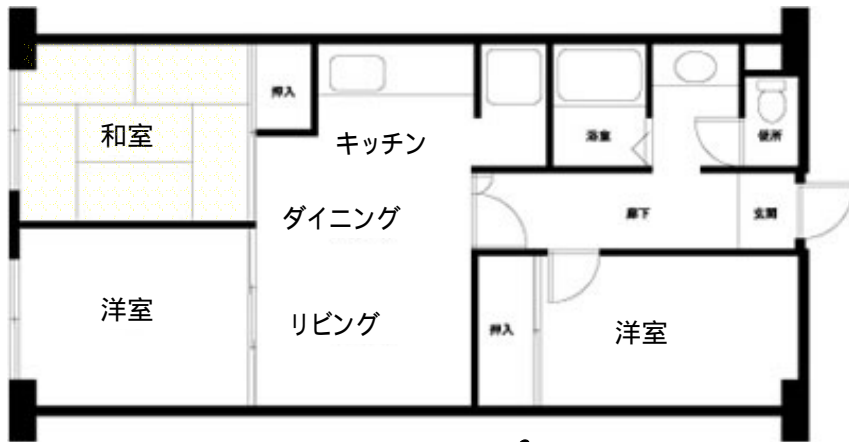
### 多目的利用

- ・早変わり可能：  
仕事場、食卓、団樂  
寝室、客間にも
- ・IT機器：  
PCや周辺装置の  
小型化で一時的な  
ホームオフィスに  
(部分テレワーカー)

*any to any communications*



## 典型的な間取りの例



(3LDK、70m<sup>2</sup>)

*any to any communications*



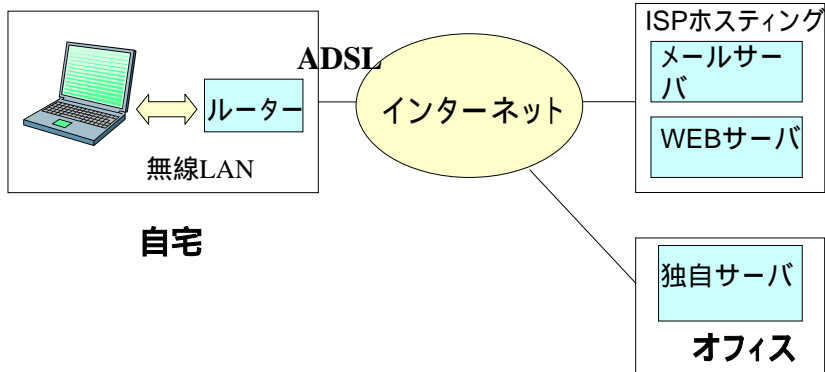
## 和室：テーブル位置と視点の広がり



*any to any communications*



## 実践したネットワーク



自宅

*any to any communications*



## 和室オフィスの実践例 1

タワー型PC + CRTディスプレイ、有線LAN接続



*any to any communications*



## 和室オフィスの実践例 2

ノート型PC、無線LAN接続



テーブルも片付けることができ、**和室の多目的利用が可能**

*any to any communications*



## 無線LANのセキュリティ対策

- 無線LANのネットワーク識別 (ESS-ID)、暗号化 (WEP) だけではセキュリティ不十分
- 次のような対策が必要
  - ・メール: S/MIME、PGP
  - ・WEB: SSL
  - ・データ一般: インターネットVPNなど

*any to any communications*



## まとめ

- 常時接続インターネットの普及、PC小型化により、テレワークの障害は少なくなった。
- 日本家屋には和室が依然多い。平均で1部屋以上ある。
- IT機器小型化と無線LANの普及で良好なオフィススペースになる。

部分テレワークによる和室の多目的利用

*any to any communications*



## おわりに

- ステレオタイプのオフィスイメージを持つ必要はない。より重要であるのは、作業内容や個人の嗜好にあったものであること。
- 勿論、健康や安全面での一定の配慮は必要。
- 和室に限らず、様々なオフィス例やワークスタイルを紹介しあうこと、より客観的・定量的な検証が必要。

*any to any communications*



[www.a2a.jp](http://www.a2a.jp)  
*any to any communications*